

(公財) ミズノスポーツ振興財団 2012 (平成24) 年度事業報告

2012 (平成24) 年度事業報告は以下の通りです。

I. 国民スポーツ・生涯スポーツの普及振興に対する助成		5,350万円
1. NPO法人アオダモ資源育成の会		(100万円)
2. NPO法人全国ラジオ体操連盟		(100万円)
3. (財) 全日本ボウリング協会		(100万円)
4. 第68回国民体育大会		(900万円)
(1) 本大会	東京	《500万円》
(2) スケート及びアイスホッケー	東京	《200万円》
(3) スキー	秋田	《200万円》
5. (公財) 日本体育協会		(3,750万円)
(1) 国体推進事業協力、日本スポーツ少年団 全国大会協賛及び日本体育協会情報提供事業		《800万円》
(2) ブロック別総合体育大会 (ブロック国体)		《450万円》
(3) 日本スポーツマスターズ2012 (高知)		《100万円》
(4) 総合型地域スポーツクラブ育成、活動推進		《250万円》
(5) 体育の日 中央記念行事		《100万円》
(6) 日本スポーツ少年団創設50周年記念事業		《1,000万円》
(7) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2013		《300万円》
(8) 東日本大震災被災地スポーツ少年団団員 ドイツ派遣事業		《750万円》
6. NPO法人日本テニスボール協会		(100万円)
7. (財) 世界少年野球推進財団		(100万円)
8. (財) 日本ラグビーフットボール協会		(100万円)
9. (公財) 日本障害者スポーツ協会		(100万円)
II. 地域スポーツの普及振興に対する助成		500万円
1. (社) 全国体育指導委員連合		(100万円)
2. (公財) 日本スポーツクラブ協会		(150万円)
3. (公財) ベルマーク教育助成財団		(100万円)
4. (一社) 日本バイアスロン連盟		(50万円)
5. (財) 日本ラグビーフットボール協会		(100万円)
III. 学校・社会体育の振興に対する助成		400万円
1. (公財) 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団		(100万円)
2. (財) 全国高等学校体育連盟		(100万円)
3. (社) 日本女子体育連盟		(100万円)
4. (公財) 日本中学校体育連盟		(100万円)
IV. 選手強化及び競技力向上に対する助成		2,900万円
1. (公財) 全日本アーチェリー連盟		(100万円)
2. 全日本アマチュア野球連盟		(200万円)
3. (財) 全日本空手道連盟		(100万円)
4. (財) 全日本柔道連盟		(100万円)
5. (財) 全日本大学野球連盟		(150万円)
6. (公財) 日本アイスホッケー連盟		(100万円)
7. (社) 日本アマチュアボクシング連盟		(100万円)
8. (社) 日本エアロビック連盟		(100万円)
9. (財) 日本学生野球協会		(100万円)
10. (財) 日本高等学校野球連盟		(100万円)
11. (財) 日本ゴルフ協会		(200万円)
12. (財) 日本サッカー協会		(200万円)
13. (財) 日本スケート連盟		(100万円)

14. (財) 日本ソフトボール協会	(100万円)	
15. (財) 日本体操協会	(100万円)	
16. (財) 日本卓球協会	(100万円)	
17. (社) 全日本テコンドー協会	(50万円)	
18. (社) 日本トリアスロン連合	(100万円)	
19. (社) 日本馬術連盟	(100万円)	
20. (財) 日本バスケットボール協会	(100万円)	
21. (公財) 日本バレーボール協会	(100万円)	
22. (財) 日本ハンドボール協会	(100万円)	
23. (社) 日本ボート協会	(100万円)	
24. (社) 日本ホッケー協会	(100万円)	
25. (財) 日本野球連盟	(100万円)	
26. (社) 日本近代五種協会	(100万円)	
<b>V. ジュニア育成に対する助成</b>		<b>900万円</b>
1. NPO法人 柔道教育ソリダリティー	(100万円)	
2. (公財) 全日本軟式野球連盟	(100万円)	
3. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(100万円)	
4. (社) 日本ウエイトリフティング協会	(100万円)	
5. (財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
6. (財) 日本ソフトテニス連盟	(100万円)	
7. (財) 日本テニス協会	(100万円)	
8. (社) 日本ライフル射撃協会	(100万円)	
<b>VI. 国内開催世界選手権大会等への助成</b>		<b>1,400万円</b>
1. 2012/2013 ISUワールドカップショートトラック競技会	(200万円)	
2. 2012/2013 ISUワールドカップスピードスケート競技会	(200万円)	
3. 2012 NHK杯国際フィギュアスケート競技大会	(200万円)	
4. 2012 トリアスロン世界選手権シリーズ横浜大会	(200万円)	
5. FISジャンプワールドカップ2013 札幌大会	(100万円)	
6. 2012 ロンドンオリンピック競技大会男女ホッケー予選大会	(100万円)	
7. 2012 アーチェリーワールドカップファイナル東京大会	(100万円)	
8. 2012 シニア女子レスリングワールドカップ大会 (東京)	(100万円)	
9. 国際アイスホッケー連盟4年次総会・準年次総会	(200万円)	
<b>VII. オリンピックムーブメント昂揚に対する助成</b>		<b>7,016.64万円</b>
1. 国際オリンピック委員会	(316.64万円)	
2. NPO法人日本オリンピック協会	(100万円)	
3. NPO法人日本オリンピック・アカデミー	(100万円)	
4. (公財) 日本オリンピック委員会	(6,500万円)	
(1) オリンピックパンフレット及びカレンダー作成	《500万円》	
(2) 第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) への選手団派遣事業	《500万円》	
(3) 第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) ジャパンハウス設置	《500万円》	
(4) 第32回オリンピック競技大会の東京招致活動	《3,000万円》	
(5) 東日本大震災復興支援活動 (ツバサプロジェクト)	《1,000万円》	
(6) IOCアスリート委員会活動	《1,000万円》	
<b>VIII. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成</b>		<b>1,850万円</b>
1. (独法) 国立スポーツ科学センター	(100万円)	
2. (公財) 日本アンチ・ドーピング機構	(200万円)	
3. (財) 日本水泳連盟	(200万円)	
4. (財) 全日本スキー連盟	(200万円)	
5. (公財) 日本陸上競技連盟	(200万円)	
6. (一社) 日本スポーツ仲裁機構	(150万円)	

7. スポーツ学等研究助成 (8件) (800万円)
- (1) 3軸触覚センサに埋め込みによる足裏応力分布計測システムを用いた各種スポーツ計測  
(国立大学法人東京大学 特任助教 中井亮仁氏) 《100万円》
  - (2) 運動時に生じる下肢関節部の振動情報を利用したシューズの評価  
(東北大学大学院情報科学研究科 研究特任助教 永谷直久氏)  
《100万円》
  - (3) 予測的かつ意識下な姿勢制御能の向上を目的とした過大誤差教示の効果の解明  
(武庫川女子大学健康・スポーツ科学部 講師 小笠原一生氏)  
《100万円》
  - (4) 高強度運動は骨格筋脂肪分解関連タンパク質を増加させるか?  
(立命館大学総合科学技術研究機構 ポストドクトラルフェロー 東田一彦氏)  
《100万円》
  - (5) 高齢者における運動機能の変化と認知機能および海馬萎縮との関連  
(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野 助教 柿崎真沙子氏)  
《100万円》
  - (6) 高校生投手における投球障害発生メカニズムの解明  
— 体幹・下肢関節機能に着目した三次元動作解析 —  
(京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部 理学療法士 瀬尾和弥氏)  
《100万円》
  - (7) 対人競技における競合ダイナミクスの解明  
(東京大学大学院総合文化研究科 日本学術振興会特別研究員PD 三浦哲都氏)  
《100万円》
  - (8) 柔道投技における受の頭部変化の検証とプロテクターの開発  
(長野工業高等専門学校 一般科講師 石川美久氏)  
《100万円》

IX. 自主事業 950万円  
1. ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞

合 計 21,266.64万円